



特集

仮設 再建は何を 再建するのか？

仮設住宅が大きく変わるきっかけがつけられたのではない。福島県での仮設住宅の経験が、次の災害の教訓として生かされ、少しずつ変わっていくことを願います。(辺見美津男・辺見設計室)。建築家が自らの職域を広げ、日常の職能の一部に災害と向き合う場面を持つことで、災害時に幅広い支援と迅速な対処が展開されるだろうと信じている(江崎貴洋・環境デザインスタジオ)。

被災者の「住」の権利と建築家の役割



◎辺見美津男・浦部智義・滑田崇志 | 福島県での仮設住宅の経験 ◎新堀学 | まちづくりの主体を育む仮設住宅のリノベーション ◎伊東豊雄 | 《仮設》を通じて考える「建築とは何か？」◎吉村靖孝 | 仮設住宅には不採用、でも問合せが続くコンテナ建築の「次の一手」◎江崎貴洋 | 国際NGOでの仮設建築の経験 被災地は建築家を求めている ◎福島県三春町仮設住宅ルポ



五十嵐太郎の先読み編集部 |
段ボールを突破口に
避難所を改善する
藤村和成の
個人活動

Interview |
次世代に不安を残さない毅然とした
震災復興が日本建築学会の責務
— 和田章

美しき構造設計の世界②
「東京ドーム」
— 萬田隆

香川県から
被災地に届けた
組み立て可能な
シャワー室
— 平野祐一

東日本大震災—行動する建築家④



各地域に拠点を置く設計事務所の
建築集
作品集